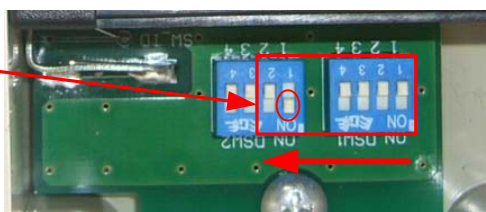
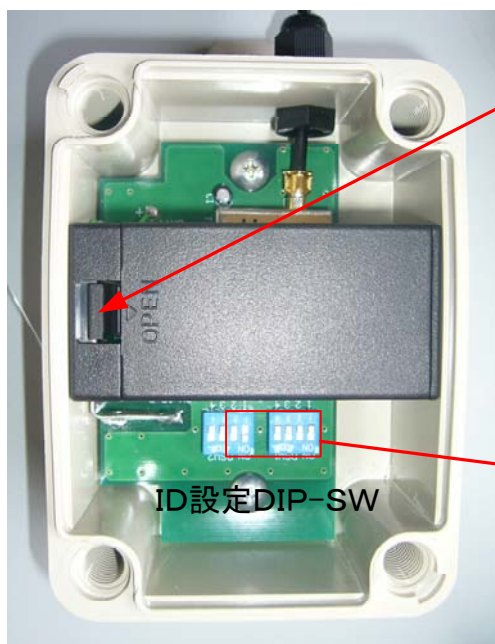
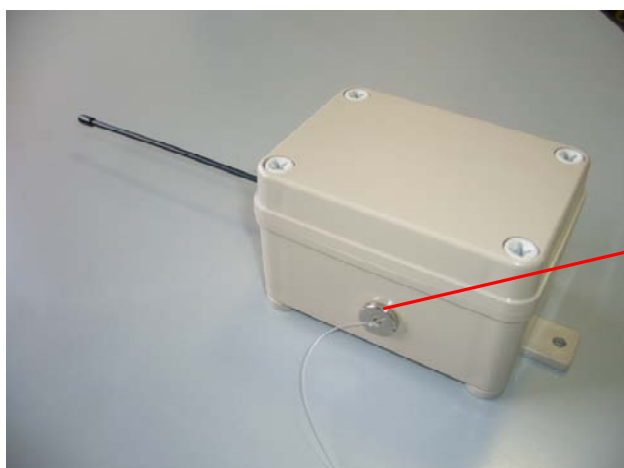


# 檻・民衆発信器 OS-01



+ドライバーで4本の止めビスを取り外します。  
作業後は、止めビスをきっちり締めて下さい。  
上蓋は上下方向があります。

上写真の状態は、5がONに  
右から、1-6のいずれかをONに  
全てOFFですと送信しません。  
赤枠外左端の2つは無配線です。



シール位置にマグネットをくっつけると送信停止  
マグネットが、この位置から外れると送信します。

OS-01は、ARIB STD-T67テレコントロールに準拠した送信ユニットを使用した適法品です。  
どなたでも目的を問わず、使用いただくことができます。  
OS-01の利用には、専用受信機HR-01が必要です。  
また、使用にあたっては、あらかじめ受信機HR-01に対し、送信機であるOS-01を登録しておく必要があります（他者設置分を受信しないようにするため）。  
同時お買い上げ時は、設置すぐ稼働するよう登録したものををご用意しますが、あとでOS-01を増設する場合は、別紙CD T-TX/RX-01の説明書に従って個々に登録して下さい。  
その場合、設置場所情報としてID最大6まで設定出来ますので、重複の無いようID設定DIP-SWを操作して下さい。  
もし、同じ受信エリアで、識別6を越えるような利用がある場合、識別情報が重複することになりますが、この場合、受信信号強度の違いによる判断もできますので、6箇所を超える設置にも対応できると考えます。  
電池の消耗については、連続送信300時間を目安に交換をお願いします。  
また、設置時は必ず、また時々、HR-01を持って送受信の動作確認を行って下さい。  
電池消耗ほか、屋外に設置して運用するものですから、何か思わぬトラブルの発生もあり得ます。  
お買い求め後、使用上に問題のない電気的なトラブルにつきましては、1年間無償修理対応させていただきます。

お問い合わせは、  
〒703-8207 岡山市中区祇園433-6 有限会社青電舎  
TEL086-275-5000 seiden@po.harenet.ne.jp